

## 事業報告書

### 1 総括

就労継続支援B型事業所きずなの職員体制は、施設長を始め常勤職員5名、非常勤職員8名の計13名体制で運営している。職員の処遇については、令和元年6月から整備された処遇改善加算手当に加え、新たに、4年2月から9月までの処遇改善臨時特例交付金による手当、10月からのベースアップ等支援加算による手当を取り入れ、改善に努めている。

施設運営では、新型コロナウイルス感染症拡大予防として、職員及び利用者各家庭への注意喚起を行い、手洗い、マスク着用の徹底、サーモカメラ及び空気清浄機の活用による感染予防に努めた。その結果、各家庭からの若干の感染者は出たものの、事業所内における感染は無く、事業運営に際しての大きなダメージを回避することができた。

B型利用者は、20人定員のところ、24人の登録があり、概ね毎日20人程度の利用で推移し、年間を通じての利用状況は、営業244日間、1日平均19人の利用であった。今までのきずなの取組み等が評価されてきた結果なのか、昨年度に引き続き、毎月、施設見学及び体験の申し込みがあり、見学29人、体験利用10人、特別支援学校生徒の体験実習4人を受け入れた。この他、市からも保育士、子ども部会など約30人の方が見学に来られた。就労、退去により利用者が3名減少するも、新たに特別支援学校卒業生、施設見学者など4人が、利用を開始したことにより、前年度並みの利用者を確保することが出来た。今後も引き続き、特別支援学校への働きかけが必要である。

事業収入では、菓子販売においては、きずな喫茶スペースでの月1度の菓子販売及び各種マルシェへの積極的な出店、お客様からのご要望を取り入れた米粉を原料としたシフォンケーキの研究、作成など、その美味しさを増し、リピーターとなって定期的に購入される方、お友達にご紹介してくれる方など、きずなのお菓子は、地域の皆さん始め多くの方々にご愛用頂いている。シフォンケーキを始めとするお菓子の売上は、前年度を若干上回る330万強の売上となった。

軽作業では、昨年度に引き続き、コロナ禍における自動車産業の低迷等により施設外就労が減少している。しかし、室内作業では、新たな事業所の開発や新しい仕事の取組みなどにより前年度並みの収益をあげることが出来た。

就労への支援については、障害者相談支援センターからの情報を活用し、事業所見学、実習を経て、1名が就職した。また、利用者を対象とするビジネスマナー研修を月1で開催し、就労への支援の強化を図っている

全体としては、引き続きコロナ禍の影響はあるものの、施設及び事業共に、安定して運営することができた。

- 2 法人理念
- ・ 1人ひとりを社会人として尊重すること
  - ・ 1人ひとりの能力を見つけ、引き出し、高めること
  - ・ 1人ひとりが支えあい、補い合うこと
  - ・ 1人ひとりが前を向いて生きていくこと

法人理念については、毎朝の職員朝礼にて復唱するとともに、廊下に掲示。さらに理念の内容をわかりやすく伝えるため、その解説を職員向け、利用者向けと分けて掲示している。

- 3 運営方針
- 自立と社会経済活動への参加を促進するための支援を行い、障害にあった公平な作業環境を作り、地域とのかかわりを深めた健康で明るい職場を目指します。

- 4 重点目標
- ①特別支援学校、関係機関・団体との連携を深め新規利用者の獲得に努める。

半田特別支援学校からは、高等部2・3年生の現場実習を受け入れ、また、見学や体験も随時受け入れてきた。その結果、令和4年4月から特別支援学校卒業生1名（男性）の方が利用を開始した。

障害者相談支援センターとは、連絡を密にし、一般の方の見学や体験を随時受け入れた、その結果、令和4年度中に、3名（男性2名、女性1名）の方が利用を開始した。

特別支援学校については、体験実習を得て、2名（男女各1名）の卒業生が令和5年4月からきずな利用の予定で学校とともに準備を進めてきたが、急遽、2名とも家族の強い要望で、在学中に利用又は支援されてきた事業所の施設を利用することとなってしまった。

今回は、多機能的に事業を展開しており、早くから個人との関りを持つ事業所の強みが最大限に発揮された結果、利用者を寸前で、攫われてしまった。

②虐待防止に関する意識向上を図るとともに、施設としての共通認識を職員間で共有するための研修を充実させ、利用者の権利を擁護するとともに、利用者への福祉サービスの向上を目指す。

「虐待防止対応規程」、「身体拘束等の適正化のための指針」を策定し、令和4年4月1日より施行した。併せて、同日、「虐待防止委員会」及び「身体拘束等適正化検討委員会」を立ち上げ、第1回会議を4月25日、第2回会議を9月27日に開催し、委員会設置の意義、虐待防止対応規程の内容の説明、身体拘束等の適正化の推進に向け事業所が取り組むべき事項の確認、研修計画等について意識の共有等を図った。また、「虐待防止・身体拘束等の適正化」に関する研修に参加

した。11月には、講師を「きずな」に招き、利用者及び職員を対象として、「虐待・差別」に関する研修を行った。

③自然災害等が発生した場合でも、福祉サービスを安定的・継続的に提供することが重要であることから、業務継続計画（BCP）の策定に取り組む。

策定に向けて、研修及び意見交換会に参加したが、策定までには至らなかった。

- |        |                  |             |
|--------|------------------|-------------|
| 5 職員体制 | 施設長（管理者）         | 1名（常勤）      |
|        | サービス管理責任者        | 1名（常勤）      |
|        | 事務員（内、職業指導員兼務1名） | 2名（非常勤）     |
|        | 職業指導員（内、事務員兼務1名） | 4名（内、非常勤3名） |
|        | 生活支援員            | 4名（内、非常勤3名） |
|        | 目標工賃達成指導員        | 1名（常勤）      |
|        | 合計               | 13名         |
- 6 勤務体制 「就業規則」の定めによる
- 7 利用者定数 定員20名
- 8 営業日 毎週月曜日から金曜日まで（土、日、祝日並びに12月29日から12月31日及び1月1日から1月3日までを除く）  
ただし法人が必要と認めたときには変更することができる。  
営業時間：午前8時30分から午後5時30分まで  
サービス提供時間：午前9時から午後3時30分まで
- 9 会議
- (1) 職員会議：月1回
  - (2) 支援会議：月1回
  - (3) 利用者シフト会議：月1回
  - (4) 作業能力判定会議：3ヶ月に1回開催
- 10 職員研修等
- 4月30日：処遇改善加算の仕組みについて Zoom
  - 6月2日：半田市の福祉サービスや社会資源を知ろう！ Zoom
  - 6月9日：食品責任者再講習会 アイプラザ講堂
  - 6月17日：誰もが暮らしやすいまちづくり講座 雁宿ホール 大ホール
  - 7月4日：発達障がいの疑似体験と家族の思いについて Zoom
  - 7月8日：障がい者雇用フォーラム 雁宿ホール講堂

8月3日：「就労支援における連携・協働」意見交換会 常滑市役所会議室  
8月18日：強度行動障がい支援者養成基礎研修 市役所大会議室  
9月12日：身体障がいのある方への支援のポイント Zoom  
9月27日：障がい者虐待防止・身体拘束等の適正化に関する研修 Zoom  
10月2日：有識者講演会（ダイバーシティ）Zoom  
10月4日：高次脳機能障がいのある方への支援のポイント Zoom  
10月13日：NPO 法人 piece for you での就労支援の取り組み Zoom  
10月16日：高齢者・障がい者虐待防止講演会 雁宿ホール講堂  
11月2日：「虐待・差別」に関する研修（利用者対象） きずな多目的室  
11月11日：サンハウス（A型事業所）での就労支援の取り組み Zoom  
11月15日：知ってください、ピアサポートの意義 Zoom  
12月1日：アンガーマネジメント研修（虐待防止） Zoom  
12月2日：障害福祉サービス事業所等における自然災害発生時の業務継続計画（BCP）の作成推進及び行けん交歓会 Zoom  
1月24日：愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修 三の丸庁舎大会議室  
3月1日：R4年度実績、活動報告・情報共有・連絡・グループディスカッション 市役所大会議室  
3月9日：就労支援基礎講座&実践報告会 ウィンク愛知  
3月15日：工賃向上推進事業成果報告会 Zoom  
3月16日：「インボイス制度について Zoom  
3月17日：利用者と企業の成功体験を生み出す実習と面接の支援 Zoom  
※新型コロナウイルス感染拡大予防のためオンライン（Zoom）開催が基本となっている。

## 11 役員及び評議員会

- (1) 令和4年5月30日 監事監査  
令和3年度事業の決算審査
- (2) 令和4年6月3日 役員会  
理事長職務の執行状況について報告、令和3年度事業監査について報告  
虐待防止委員会及び身体拘束等適正化検討委員会の設置並びに関連法規制定について報告  
3年度事業報告、3年度収支決算書、定款の一部改正、理事の推薦、次回評議委員会の開催について審議、  
地域振興券の利用状況について報告
- (3) 令和4年6月21日 評議員会  
令和3年度事業監査報告、虐待防止委員会及び身体拘束等適正化検討委員会の設置並びに関連法規制定について報告  
3年度事業報告、3年度収支決算書、定款の一部改正、監事の選任について審議

地域振興券の利用状況について報告

(4) 令和4年11月18日 役員会

理事長職務の執行状況について報告、令和4年4月～9月までの収支報告、福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算について報告、職員給与規程の一部改正について報告

補正予算（第1次補正）、臨時職員等就業規則の一部改正について審議  
利用者の一般就労について報告

(5) 令和5年3月3日 役員会

理事長職務の執行状況について報告、令和4年4月～5年1月までの収支報告

補正予算（第2次補正）、令和5年度事業計画、収支予算書、職員の勤務の延長、次回評議員会の開催について審議

理事・監事・理事長の選任に係るスケジュールについて説明

(6) 令和5年3月24日 評議員会

5年度事業計画、収支予算書、職員の勤務の延長について報告。

12 行事、菓子販売等の実施報告

月	きずな行事等	菓子販売（イベント等）	その他
4月	花見（運動公園）、虐待防止・身体拘束等適正化委員会	ウエルハート農園マルシェ	見学受入1名 体験利用受入1名（5月から利用開始）
5月	防災訓練（地震）	春の草花展（上池公民館） 住吉神社マルシェ	見学受入1名 体験利用受入2名 監事監査
6月		ウエルハート農園マルシェ 乙川八幡神社マルシェ	見学受入4名 体験実習受入2名（支援学校3年生） 役員会、評議員会
7月	買い物実習（アピタ阿久比店）、お仕事ガイダンス、障害者雇用フォーラム		見学受入28名 寄附：吉野廣守様（切手）
8月	きずな夏祭り		見学受入12名 体験利用受入2名
9月			見学受入3名

10月	利用者健診、職員健診	無量寿寺マルシェ 上池公民館文化祭 農園バンド音楽祭（ウェルハート農園）	見学受入1名 体験利用1名 体験実習受入2名（支援学校2年生） 寄附：新美雅幸様（車椅子） 石川公雄様（フラットファイル）
11月	防災訓練（火災）、社会見学（ビーチランド）	海蔵寺マルシェ	見学受入1名 体験利用1名 寄附：石川公雄様（はがき・切手） 役員会
12月	クリスマス会		見学受入1名 体験利用2名（2名1月から利用開始）
1月	初詣（住吉神社）、成人を祝う会、調理実習（亀崎公民館）		見学受入1名
2月	調理実習（亀崎公民館）、豆まき		見学受入1名
3月	ひな祭り		見学受入3名 体験利用2名（1名4月から利用開始） 寄附：田口良孝様（切手） 矢野昭男様（はがき） 役員会、評議員会

※誕生日のお祝い 各利用者さんの誕生日

※菓子販売

- ・毎月：やさい村（4年8月まで）、街かどサロンかめとも（4年12月まで）、駅前はうす（4年12月まで）、なちゆるる、衣浦電機製作所、半田市社会福祉協議会、デンソー阿久比、デンソーウェーブ、きずな喫茶スペース（第2水曜日）、クラシカフェ（クラシティ1階）、みんなのもりカフェ（半田図書館内）
- ・隔月：常滑市デンソーダイシン、日本ガイシ、トヨタカローラ名古屋東浦店、ふれあいマルシェ（クラシティ1階、年金支給日）
- ・イベント（マルシェ）：上池公民館、無量寿寺、住吉神社、乙川八幡社、海蔵寺、ウェルハート農園、農園バンド（ウェルハート農園）
- ・随時：牧原治療院、地区の団体、上記以外の事業所、個人の注文 など

### 13 利用者数推移（就労継続支援B型：定員20名）

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数(日)	20	19	22	20	22	20	20	21	20	19	19	22	244
実利用者数(人)	25	26	24	23	23	23	23	23	22	24	24	24	284
延べ人数(人)	401	392	447	390	414	395	388	404	346	338	355	412	4682
1日平均(人)	20.1	20.6	20.3	19.5	18.8	19.8	19.4	19.2	17.3	17.8	18.7	18.7	19.2

令和3年度 営業日 年242日、実利用者 280人、延べ 4,606人、1日平均 19.0人

### 14 支援費収入

(円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3,357,105	3,206,014	3,631,438	3,167,670	3,360,054	3,201,469
10月	11月	12月	1月	2月	3月
3,210,791	3,265,800	2,818,546	2,735,233	2,839,285	3,388,733
計					38,182,138

令和3年度 39,321,874円

### 15 事業別収入

別紙「令和4年度事業別収支の内訳（就労継続支援B型）」のとおり

### 16 利用者工賃

年間工賃合計 5,675,347円

平均工賃（他事業所併用者、月途中での利用開始・退所者等を除外して算定）

① 月額 20,302円（令和3年度 21,485円）

② 時給 226円（令和3年度 241円）

<参考>

令和3年度平均工賃（厚生労働省調査資料より）

愛知県 月額 17,653円、(2年度 16,822円)

全国平均 月額 16,507円、時給 233円(2年度 月額 15,776円、時給 222円)

### 17 就労支援

※ 利用者1人を就職させることができた。

月	支援内容	備考
4月	定着支援（東陽精機株式会社）	22歳男性
	職場実習（クラシカフエ）の支援	26歳女性

5月	職場実習（ひいらぎ特別支援学校）の支援	28歳男性
	職場実習（クラシカフェ）の支援	26歳女性
6月	採用応募書類作成（日油株式会社愛知事業所）の支援	26歳男性
	定着支援（東陽精機株式会社）	22歳男性
7月	障害者雇用フォーラム(雁宿ホール)参加	22歳女性、23歳男性 25歳男性、46歳男性
9月	A型事業所(高浜市)見学	22歳女性、46歳男性
	職場実習の支援（半田市役所職員駐車場）	32歳男性
10月	実習・面接等（AGC株式会社愛知工場）の支援	26歳男性
11月	定着支援（東陽精機株式会社）	22歳男性
12月	職場実習（AGC株式会社愛知工場）を経て就職決定	26歳男性
	定着支援（東陽精機株式会社）	22歳男性
	企業見学会参加（日本福祉大学、くらそっと）	25歳男性、23歳女性、 46歳男性
1月	定着支援（AGC株式会社愛知工場）	26歳男性
	市臨時職員に応募、面接等(半田市役所)の支援	23歳女性、46歳男性
2月	ハローワーク同行、就業相談	47歳男性
3月	定着支援（AGC株式会社愛知工場）	26歳男性
	定着支援（東陽精機株式会社）	23歳男性

※ 職場実習を経て施設外支援として、6月からクラシカフェの仕事に従事（26歳女性）  
10月から半田市職員駐車所での仕事に従事（32歳男性）。

※ビジネスマナー研修：一般就労を目指す利用者（4～5名）を対象にサービス管理責任者が講師となり。挨拶の仕方、声の出し方、面接の練習を始め、就労に必要なマナー全般についての勉強会。

## 18 寄 附

寄 附 日	寄 附 者	寄附目的	寄付金額等
令和4年7月13日	吉野 廣守	通信費	切手63円×15枚
令和4年10月3日	新美 雅幸		車椅子
令和4年10月28日	石川 公雄	事務用品	フラットファイル 7枚
令和4年11月14日	石川 公雄	通信費	はがき 40枚、切手84円×90枚
令和5年3月4日	田口 良孝	通信費	切手63円×5枚、84円×20枚
令和5年3月4日	矢野 昭男	通信費	はがき 20枚

※敬称略